

○コロナ禍にあって1年半になり、この状態のまま2学期保育が始まります。おかげさまで子供たちも教職員も何とか今まで感染せず、保育を続けることができました。有難いことです。

そんな中でも子供たちは変わらず元気で身長も伸び、体重も増え日ごとに成長しているようですね。

子供が幼いからと言って侮^{あなど}ってはなりません。幼くても「よく見ています」「よく聞いています」「よく感じています」。言葉数も増え、集団生活のマナーやルールも少しずつ身につけてきました。

○「レッテル張りをしない」

そろそろ一人ひとりの個性が目立つようになってきました。好きな遊びやこだわりもはっきりしてきました。また月齢差、体力や体の大きさもまちまちです。この時期に私ども大人が注意したいことは「この子はこんな子」「あの子は乱暴な子」「おとなしい子」・・・などと決めつけないことです。子供は環境により、また回りの大人のかかわり方によっても変わります。特にいい子、悪い子の決めつけは実に悲しいことであり、申し訳ないことです。子供たちは変わっていくのです。さまざまな特性と可能性と秘めている命たちです。

子供さんには「にっこり、にこにこ、優しさたっぷり」、毎日とはいかなくてもたまには親である我に返って実行してみませんか。何かが変わりますよ。

.....
“幼な子は、ますます成長して強くなり
知恵に満ち、恵みがある上にあつた。

新約聖書 ルカによる福音書 2章40節

○人間生活の根幹・・・生活習慣のお勧め・・・

早寝、早起き、朝ご飯。子供さんは心を鬼にして 9時までには寝かせましょう。幼児時代の睡眠不足は心身の成長、特に脳の発達には大きく影響するそうです。

継続は力、面倒でも毎日繰り返し、日常の積み重ね、より良い習慣が、やがて人生の花開く幸福のカギですよ。